

洋菓子店みんなでDX「スイーツ王国さっぽろ」 顧客・お店・従業員のリレーションアプリの開発

札幌洋菓子界のDXを後押しするアプリを

株式会社メディア・マジックが手がけたのは「さっぽろスイーツ王国推進協議会」のスマートフォンアプリ開発だ。一般消費者と会員企業に向けて「スイーツ王国さっぽろ」ブランドを活用した情報発信を行うことを目的とするもので、今回の開発を通して協議会と各会員店のDXを推進することを目指す。

さっぽろスイーツ王国推進協議会会員企業は年商規模や店舗数に幅があり、ITリテラシーにもかなり差がある状況だという。小規模企業の中には紙でのレシピ管理や在庫管理をし

ている企業も多い。多くの企業にとって厨房で開発中の新商品を撮影したり、アプリで配信したりするにはスマートフォンが最適だ。そこで、スマートフォンで簡単にコンテンツの追加や更新ができるようにし、各店のシステム利用機会を高めることを目指した。樋原さんは「ITツールに対するリテラシーを高めしていくことも、本事業の長期的な目標です」と話す。

顧客と地域のためにIT企業ができること

アプリ開発では顧客の要望をしっかりと把握することが重要だ。荒木さんはディレクターとして開発チームの管理を行いながら、顧客からのヒアリングもこなす。開発に先立ち、顧客の要望を切り分けて優先順位を整理する作業にはいつも頭を悩ませるといふ。「長く使っていただくためにも、お客様のニーズにはしっかり寄り添っていきたい」と話す。

今回開発したアプリは2023年6月に正式リリースとなる予定だ。各店舗のスタンプカードとして利用できるほか、会員企業一覧を見ることができ、区ごとの店舗を示すMAPとしても使うことができる。今後は周遊性を高めるため、スタンプラリーのような機能を追加する計画もあるそうだ。

札幌の洋菓子業界ではパティシエの雇用や育成も大きな課題だ。樋原さんは「実はIT業界も人手不足や首都圏への人材流出という同様の課題を抱えています。札幌で働くことが選択肢のひとつとなるよう私たちも貢献したい」と話した。

企業の声



取締役 第2開発部長
樋原 猛己



第2開発部 ディレクター
荒木 隆弘

長く使っていただける サービスを目指して

今回の開発ではビジュアルの表現の仕方やデザイン上のコンセプトなど、従来とは異なる視点が多く新鮮な刺激を受けました。



アプリは一般消費者が各店舗のスタンプカードなどとして利用できる。



QRコードを読み取ることで簡単な操作が可能だ。



スタンプが集まるとクーポンが取得できる場合も。

お客様に喜ばれるコンテンツサービスを

システムやアプリの開発、WEBサイトやECサイトの制作など、モバイルコンテンツの企画・制作・配信・運営などの事業を行う。

株式会社 メディア・マジック

札幌市中央区北3条西18丁目2-10 MMAビル
TEL 011-621-2500
<https://www.mediamagic.co.jp>

設立 平成8年11月
従業員数 40名
代表者 里見 英樹

